

【1976年12月／77年1月～12月】 『北海道自治研究』の主な内容

月	号	主な内容	
12	95	○ 随想 浮動票を考える	矢島 武
1	96	○ 座談会 自治革新の方向をさぐる	大内秀明＋十亀昭雄＋山内敏雄
		○ 最近の旭川革新市政についての感想	沼田 進
		○ わが町を考える学習会－革新のまちづくりへの模索	坂下 堯
		○ 連載 革新自治体の政治学 (1) 革新自治体とはなにか	山内敏雄
		○ 資料 不公平税制と財政構造の改革	東京都新財源構想研究会
2	97	○ 随想 或る日の断層	新川士郎
		○ 自民党単独政権の終焉と流動化する政治状況	横山桂次
		○ 座談会 77国民春闘の展望と課題	武田聡＋田村武＋西村ケイ子＋高石守彦
		○ 物価と生活－この一年間で生活はこんなに破壊された－(77賃金白書北海道版から)	
		○ 連載 革新自治体の政治学 (2) 革新自治体の政治体制はいかにあるべきか①	山内敏雄
		○ 研究資料 戦後地方自治の検討方法	星野光男
		○ 自治体問題関係文献索引 <1976年1月～6月>	
3	98	○ 随想 岩内漁業のあれから	村岡重夫
		○ 地方自治体予算の見方・考え方－財政危機に関連して	岩本和秋
		○ 研究資料 地方交付税の再検討－問題点と改革の方向	藤田武夫
		○ 資料 昭と52年度地方財政計画	
		○ 連載 革新自治体の政治学 (3) 革新自治体の政治体制はいかにあるべきか②	山内敏雄
4	99	○ 随想 漁業外交のはなし	藤谷 豊
		○ 富村発電所建設と電気事業民主化闘争－3年2カ月、電気事業を道民のものとして自覚させるまで	吉田勇治
		○ 連載 革新自治体の政治学 (4) 革新自治体の政治体制はいかにあるべきか③	山内敏雄
		○ 連載 原点からの都市計画 (2) 家族と生活①	村瀬 章
		○ 資料 明日への前進をめざして－釧路革新市政下の組合員意識調査から	十亀昭雄
5	100	○ 研究所を考える－『北海道自治研究』100号に当たり	矢島 武
		○ 座談会 北海道における自治革新への視座	五十嵐広三＋十亀昭雄＋松井安信＋森尾昇＋山内敏雄
		○ 経験的革新首長論	山口哲夫
		○ 研究資料 社会保障論覚書	松尾 均
		○ 連載 革新自治体の政治学 (5) 革新自治体の政策① はたして保革の違いはなくなったか	山内敏雄
		○ 連載 原点からの都市計画 (3) 家族と生活②	村瀬 章
		○ 『北海道自治研究』総目次 <1969年2月号(第1号)～77年5月号(第100号)>	
6	101	○ 随想 時流	長谷川正治
7	102	○ 地方自治30周年記念特集 地方自治を育てる市民集会	
		・ 札幌集会基調講演 生活と政治の結びつきが自治	横山桂次
		・ 釧路集会基調講演 中央集権は崩れはじめた	西 勇
		・ 室蘭・函館集会基調講演(総合要旨) “変わらない政治”を变えるために	十亀昭雄
		・ 札幌・室蘭・函館・帯広・釧路・旭川集会基調講演(総合要旨) 真の自治こそ変革の主体	五十嵐広三
		・ 帯広集会パネルディスカッション基調発言 地方自治体は個人の人權の集合	丹宗昭信
		・ 同パネルディスカッション発言 まず北海道開発法を改正すべし	熊谷克治
		・ 同パネルディスカッション発言 地方自治の本旨とは何か	金堂守治
		・ 同パネルディスカッション発言 住民運動は未来性を持って	吉田勇治
		・ 旭川集会パネルディスカッション基調発言 憲法の権利は多数決にも侵されない	久田栄正
		○ 資料 戦後自治年表 (1)	
		○ 連載 革新自治体の政治学 (6) 革新自治体の政策② つらぬかれぬ革新の思想と方法	山内敏雄
		○ 忙中一筆 三角筋拘縮症集団検診への取組み	千葉ふみ子
8	103	○ 随想 革新市政30年	吉田 久
		○ 今次参議院選挙結果の分析	十亀昭雄
		○ 混合組合・単純公務員労働者と労働基本権	
		－全道庁釧路総支部不当労働行為救済命令取消請求事件・札幌地裁判決と関連して	小川 環
		○ 滝川市への競輪場誘致反対運動・その闘いの記録	深田義勝
		○ 資料 戦後地方自治年表 (2)	
		○ 忙中一筆 『国に要請』しても生命と暮らしは守れない	湯本芳志
9	104	○ 随想 詩人枯木虎夫を想う	中村喜一
		○ 町づくりシンポジウム (土幌町)	
		・ 基調報告 土幌町第二期町づくり計画策定について	浪内一洋
		・ 基調提言 独自の生活要求を取り入れるべし	西 勇
		・ 基調提言 「住みよさ」「豊かさ」「魅力」を問いつつ	十亀昭雄
		・ 討論第一部 町づくり計画と実施における住民参加	
		・ 討論第二部 職員参加はいかにあるべきか	
		・ まとめ① 政策構造を变える認識を大前提に	十亀昭雄
		・ まとめ② 住民参加と職員参加は車の両輪	西 勇
		○ 資料 1977年度革新市長会総会・基調報告 「連合の時代」における革新自治体の総括と展望	
		○ 忙中一筆 おかしな「公約」とおかしな脱税的行為	山本忠次

10	105	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 随想 池田町今昔</li> <li>○ 第17年次地方自治研究全道集会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基調講演 政治経済情勢と革新の対応ー革新は何をなすべきか</li> <li>・ 特別報告 伊達火発反対闘争</li> <li>・ 分科会報告 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 第1分科会 地方自治確立に向けて <ul style="list-style-type: none"> <li>第1分散会 地財確立と反合理化</li> <li>第2分散会 街づくり・市民生活</li> </ul> </li> <li>② 第2分科会 住民の健康と福祉を守るために <ul style="list-style-type: none"> <li>第1分散会 衛生・医療</li> <li>第2分散会 生命軽視といかに闘うか</li> </ul> </li> <li>③ 第3分科会 豊かな生活環境確立のために <ul style="list-style-type: none"> <li>第1分散会 環境破壊といかに闘うか</li> <li>第2分散会 産業</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・ 総括報告</li> <li>・ パネルディスカッション 革新道政確立へのアプローチ</li> </ul> </li> <li>○ 忙中一筆 北海道開発でのおかしな話</li> </ul>	<p>石井 明</p> <p>福田 豊 齊藤 稔</p> <p>林 彰 熊谷克治+十亀昭雄+田村武+森尾昇+山内敏雄 吉田英治</p>
11	106	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特集 国鉄を「国民の国鉄」にするために！ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第17年次地方自治研究全道集会・共闘会議レポート 住民の足を守るための交通運輸諸課題</li> <li>・ 交通問題民間広聴会記録</li> <li>・ 道民大行動キャラバンの報告</li> </ul> </li> <li>○ 第17年次地方自治研究全道集会・共闘会議レポート 林政民主化共闘の課題</li> <li>○ 忙中一筆 地方自治30年 今求められるもの</li> </ul>	<p>福田郁夫</p> <p>齊藤直治 東井富男 池島信吉</p>
12	107	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対談 いま、革新のあり方を問う</li> <li>○ 対談を了えて</li> <li>○ 『北海道自治研究』100号記念論文 選考経過</li> <li>○ 『北海道自治研究』100号記念論文論文 私にとって地方自治とは何か=地方自治空間の認識</li> </ul>	<p>篠原一+十亀昭雄 十亀昭雄 選考委員会</p> <p>志田敏彦</p>